

海外安全対策情報

【2018年10月～12月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様
が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについて、
以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好と言われていますが、各種犯罪は日常的に発生しており、
時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。また、飲酒や交通マナーに伴う
揉め事が多発傾向にあり、些細なことからケンカとなり傷害事件に発展するケースも報
道されています。当地では、飲酒運転に対する取締りが強化されており、自分が飲酒後
運転しないことはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗しないように気をつけな
ければなりません。さらに、ネット詐欺、ネズミ講詐欺など知能犯犯罪、麻薬などの違法
薬物犯罪が後を絶たない状況にあります。

2. 防犯対策

当地では過去に、邦人がスリ、置き引きの窃盗被害に遭う事案や、夜間盛り場などで
トラブルに巻き込まれる事案が発生しています。このような状況の中、次のような点に
ご注意し、犯罪に巻き込まれないようにしてください。

- (1) 外出の際は、周囲の状況に注意し、異変を察知した場合はその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に目立つ華美な服装や行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や夜間薄暗く人通りの少ない場所での移動を避ける。
- (4) 見知らぬ相手からの安易な誘い・要求には応じない。
- (5) 安易な気持ちで違法薬物の受取・使用はしない。
- (6) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理には細心の注意を払う。

3. 事件・事故報道

(1) 殺人容疑者検挙（竜口市）

11月4日午後、竜口市黄城から青島市に向かう長距離バスに乗車した殺人容疑者
を検挙した。同容疑者は、黄城から青島市に向かう長距離バスに実名で切符を買って
乗車した。その後、同バス運転手にバス会社から「バスに殺人の容疑者が乗車して
いるので、バスの進行を遅らせるように」と指示があり、運転手が通常15分の行程を
30分以上掛けて運行したところ、あるバス停で待ち構えていた警察官がバスに乗り
込み容疑者を検挙した。同容疑者は、同日竜口市において刃物で2名を刺殺し1名に
重傷を負わせた疑いがある。

(2) 重傷傷害事件（青島市）

11月9日、青島市市北区の住宅で、女性が頭、腹部を刺され重傷を負う傷害事件
が発生した。同女性は男性と同棲しており、事件後同男性と連絡が取れなかったこと
から公安局が行方を捜していたところ、10日親戚に連れられ派出所に自首した。同

海外安全対策情報

男性によれば、女性の歓心を買うために高利貸しから金を借りて貢いでいたところ、女性に他の男ができたことから喧嘩となり、台所にあった包丁で女性の腹部等を刺し、怖くなって救急車を呼んで逃げたとのことであった。

(3) 鋼球によるバス損壊（青島市）

10月6日午前、青島市内を走行中のバスが終点に着いたところ、「バン」と大きな音がしたことから運転手がバスを点検し、車両左側の運転手近くのガラス窓に弾痕様の穴が開いているのを発見した。青島市バス会社によれば、ベアリング鋼球による損壊とみられ、8月から同様の鋼球によるバス攻撃が5件発生している。

(4) 公共安全危害（泰安市）

11月28日泰安市東平県人民法院は、走行中のバスのハンドルを無理矢理操作し公共の安全を脅かしたとして被告人に懲役3年の判決を言い渡した。同被告人は、今年4月21日、泰安から東平に向かうバスに酒を飲んだ状態で乗車し、運転手に対してバス停以外のところで下ろすよう要求、運転手が拒否したところ、横からハンドルを持ち動かした。バスは運転手が急ブレーキをかけ止まったが、壁に衝突し右前タイヤがパンクした。被告人は拘束され、バスの修理費1,500元を支払うとともに、刑事責任を問うため裁判にかけられていた。

(5) バス運転手に対する暴行（青島市）

11月29日即墨公安分局は、バスの運転手を殴打した女性を行政拘留5日の処分にした。同女性は、同月27日、即墨区を走行中のバスに乗車中、降りるべきバス停を乗り過ごしたことから、運転手にバスを止めるように要求した。運転手がバス停以外では停車できないと断ったところ、同女性は騒ぎだし、ついには運転手を1回平手打ちにした。運転手はすぐに警察に通報したが、同女性は次のバス停で他の客にまぎれて降車していた。

(6) 窃盗（青島市、日照市、莱西市、胶州市）

ア 隣人による空き巣（青島市）

青島市西海岸新区に居住する女性は、6月頃部屋に置いてあった現金が少なくなっていることに気が付き、盗難に遭ったと考えて部屋の中に監視カメラを設置した。9月下旬、再度部屋の現金が少なくなっていたことから、監視カメラ映像を確認したところ、隣に住む男性が部屋に侵入し盗んでいたことが判明した。女性らが同男性を追及した結果、同男性は犯行を認め派出所に自首した。

イ 連続空き巣（青島市、日照市）

9月末、青島市西海岸新区で、2件の留守宅に空き巣が入る連続空き巣が発生した。警察が調べた結果、発生時間帯に顔を隠した怪しい男がオートバイで被害者宅周辺を走行しており、同オートバイは日照市まで走行していたことが判明した。青島市警察が日照市から青島市に至る国道で監視していたところ、10月17日、同オートバイが日照市方向から走行してくるのを発見し追跡、容疑者が西海岸新区で空

海外安全対策情報

き巢を行ったところを現行犯検挙した。同容疑者は、今年5月に刑務所から出所したばかりで、出所後日照市及び青島市で6件の空き巣を繰り返していた。

ウ 連続電動三輪車盗難（萊西市）

10月27日、萊西市で農作業をしていた住民が堤の上に止めていた電動三輪車がなくなっているのに気が付き、萊西市公安局に通報した。現場検証、付近の監視カメラ映像により、容疑者を割り出し、11月2日検挙した。同容疑者は、9月21日と10月中旬にも電動三輪車を盗んでおり、容疑者の供述から3台の電動三輪車を回収した。

エ 車上荒らし（膠州市）

11月9日膠州市公安局は、10月29日から11月6日夜までの間に膠州市において46件の車上荒らしを犯していた容疑者を検挙した。同容疑者は、商売に失敗し高利貸しから多額の借金があり金に困っていたところ、路上に駐車してある車両の中に財布が置いてあるのを見つけたことから車上荒らしをすることを決意し、これまでの46件の犯行で5万余元を得ていた。

オ 連続職場盗（青島市）

11月11日市北公安局は、9月以降数軒のホテルでフロント係として働き、フロントの金目の物を盗んですぐにホテルを辞めていた若い女性を検挙した。同女性は、この手口を繰り返して9月から被害額合計約1万円の窃盗を行い、遊興費に充てていた。

カ 出店荒らし（膠州市）

11月8日、膠州市公安局は9月に膠州市のスーパーに侵入し、店内から現金及びたばこ（被害額7,000元相当）を窃取した容疑者を検挙した。同容疑者は、夜中ある店の前で周りを見回すなど怪しい行動をしていたことから、警察官の職務質問を受け、マスク、手袋、スパナを持っていたことが発覚。自宅を捜索したところ、大量のたばこ、現金が発見され、犯行を認めた。同容疑者は、今年窃盗の懲役を終え釈放されたばかりであった。

キ 連続窃盗（青島市）

11月23日、嶗山刑警大隊は長距離バスターミナル付近においてオートバイを盗んだ容疑者を検挙した。11月中旬、同地区では連続して三輪バイク盗難が発生していたことから、同大隊が捜査した結果、容疑者を割り出し、23日に逃走の準備をしていた容疑者を検挙した。同容疑者の供述によれば、嶗山地区での三輪バイク盗難を3回、城陽区で車上荒らしを2回行い、盗品を売り払って生活費に充てていたとのこと。

ク 常習窃盗（萊西市）

11月29日萊西市公安局は、同月25日に連続して窃盗を行った、窃盗の前科6

海外安全対策情報

犯で今年 10 月に刑期を終え出所したばかりの窃盗犯を検挙した。同窃盗犯は、25 日夜間最初に電動車を盗み、同電動車に乗って物色し、ビール、リンゴ、ちり紙などを盗んだ後、また同電動車に乗って逃走していた。

(7) 住宅修理詐欺 (青島市)

青島市市北警察は、9 月から李滄区でガス会社社員を名乗り偽のガス警報器を使って、ガスバルブを高く売りつけていた詐欺グループ 4 名を検挙した。同グループは、李滄区内の家を回り、ガス会社社員と偽ってガス点検を実施したふりをし、偽のガス警報器の警報の鳴らしてガスが漏れていると申し向け、18 元のガスバルブを 300 円で売りつけていた。同様の詐欺行為を 50 件余り行い、合計 3 万元余りを荒稼ぎしていた。

(8) 偽 110 番通報 (青島市)

10 月 20 日、20 数回の偽 110 番通報を繰り返した男が検挙された。同男は、「金銭トラブルを抱えており、これから相手の一家を皆殺しにする」との 110 番通報を繰り返し、警察に対応させたことで業務を妨害した。同男の身元を特定し検挙したところ、「酒を飲んでおりどうして 110 番通報したか覚えていない」と申し立てた。

(9) 覚醒剤ネット販売 (青島市)

11 月青島市市南区検察院は、違法薬物をネットで購入しその宅配便を受け取ったとして市南区に居住する男女を起訴した。同男女は、今年 4 月ネットゲームで知り合った者から違法薬物購入を持ちかけられたことに同意し、微信でその者に 16,000 元を支払うとともに送り先を知らせた。7 月同女が、指定した場所に宅配便を取りに来たところを警察に捕まった。宅配便の中には、覚醒剤 49.26 グラムが入っていた。

(10) 金密輸摘発 (煙台市)

9 月中旬煙台市税関は、煙台から韓国仁川空港行き飛行機に搭乗予定の 7 名の中国人客が、制限量を超えた金製品を携帯しているのを発見した。同名らが携帯していた金製品は、25 個、総重量 4.4kg であった。同名らは、短期間の内に韓国と中国の往復を繰り返しており、手荷物の中に金製品を隠して韓国への金製品密輸を繰り返していた模様である。

(11) ひき逃げ (青島市)

ア ひき逃げ (青島市)

10 月 7 日夜、黄島地区の路上で、歩行中の老人がワゴン車に轢かれ、ワゴン車は老人を救護せずに現場を立ち去るひき逃げ事故が発生した。公安局交通警察が付近の監視カメラ映像を検証したところ、現場から立ち去った車両を特定、同車両の所有者を追及した結果、老人を轢いたことを認めた。同所有者は、当時酒を飲んだ上無免許であったため、現場から逃げワゴン車を隠していたとのこと。轢かれた老人は、病院に運ばれたが頭部の怪我がひどく生命の危険がある。

イ 死亡ひき逃げ（青島市）

10月20日朝、90歳の老女が横断歩道を通行中、ナンバーの付いていない電動三輪車にはねられその場に倒れた。三輪車の運転手は老女を救護せずにその場から立ち去ったため、老女は後続の乗用車に再度轢かれ死亡した。公安局が捜査したところ、三輪車は近くの市場の小道に入って行ったとのことであったため、市場付近を検索し三輪車と容疑者を確保した。容疑者によれば、自分の三輪車はナンバーが付いていないので見つからないであろうと思い、市場で豆腐を作る仕事をしていたとのこと。

（12）交通事故（聊城市，泰安市）

ア 車両火災を伴う多重事故（聊城市）

11月12日、聊城市の高速道路において、突然濃霧が発生し視界が悪くなったことから、2カ所において衝突事故から車両火災を引き起こす多重事故が発生した。これらの事故には21車両が巻き込まれ、その内16車両から火災が発生し、2名が死亡、9名が負傷した。

イ 濃霧による事故発生（泰安市）

11月19日、泰安市の高速道路上で、観光バスやマイクロバスなどを巻き込んだ衝突事故が発生し、1名が重体、6名が軽傷を負い病院に運ばれた。当時同地区では濃霧が起きたため、高速道路上の4カ所で事故が発生し、合計16台の車両が巻き込まれた。

（13）交通違反検挙（平度市）

ア 過積載トラック検挙（平度市）

10月30日、平度市公安局交通警察がパトロール中、5台の同型トラックが前後して走行しているのを発見した。同トラックらの走行速度は遅く、一番後ろのトラックにあってはタイヤがつぶれて黒煙を出しながら走行していたことから、過積載の状態であることが疑われた。トラックはパトカーに気が付くと逃げようとしたが、荷物が重くスピードが出なかったことから停止させられ、検査の結果、5台のトラックは、同じ会社に所属し萊西から臨沂まで石材を運ぶために全て過積載の状態であることが判明、検挙された。

イ 累積交通違反（平度市）

近日平度市公安局は、2015年6月から今年7月までの間に120件の交通違反を犯し、累計点数426点、累計罰金18,150元を科せられながら逃げていた違反者を検挙した。同違反者は、平度市において民警に違反を検挙された際に偽造運転免許証を提示したところ、偽造であると見破られ追及の結果、違反を繰り返していたことが判明した。同違反者は、行政拘留と罰金を科せられたとともに、運転していた車両を押収され、全ての違反の処理が終わるまで返還されない。

（14）寝たばこ火災（済南市）

海外安全対策情報

10月26日午後7時ころ、済南市のアパートの一室から出火、火はまもなく消し止められたが、同部屋の住民の男性が大やけどを負って救出された。住民の男性は市場で働いていたことから就寝が早く、また酒とたばこが好きであったということであり、酒を飲んで寝たばこをしたことによる火の不始末が火事の原因であったと思われる。

(15) 野鳥違法捕獲 (青島市)

11月16日、ボランティアが午山に入り6張の野鳥捕獲用網を撤去し、多数の野鳥を開放した。午山に張られていた網は最大150mあるものもあり、多くが100mを超えていた。中華人民共和国刑法によれば、国家重点保護獣、絶滅危惧野生動物の違法捕獲は、犯情が厳しければ10年以上の有期懲役に処すと規定されている。

4. 治安対策等報道

(1) 野生動物乱獲取締 (青島市)

青島市林業部門は9月29日から、野生動物保護を目的とした野生動物乱獲集中取締を開始した。同取締により、違法捕獲していた容疑者を確保し現場で21羽の野生の鳥を保護し自宅からも14羽を保護した事案、嶗山地区で4張の鳥捕獲網を撤去し13羽を放した事案などを検挙し、これまでに63羽の野生の鳥を開放し、208羽を保護、3名を刑事訴追した。

(2) 飲酒運転取締 (青島市)

10月16日、青島市公安局交通警察部門は、47名の飲酒運転をした運転手の実名を公表した。これら飲酒運転には、宴席に家族で参加し家族が乗った車を運転した運転手、警察の検問を発見して前後の車に車両をぶつけて逃げようとした無免許の運転手、前回の酒酔い運転事故で保釈中に再度飲酒運転をした運転手などがいた。

(3) バス速度制限実施 (青島市)

10月28日に重慶市で発生した路線バス転落事故が社会の注目を浴びたことから、青島バス集団は、路線バスが市内を走行する際の最高速度を時速40kmに制限した。また、バス停の手前30mでは時速15km以下に落とし、停車時には時速10km以下にしてから静かに止まるように各運転手に指示した。

(4) 新交通電子執行設備設置 (青島市)

12月1日、青島市公安局交通警察部門は、西海岸新区に47カ所の交通電子執行設備を新たに設置する。設置されるのは、30カ所の電子警察及び17カ所の監視カメラであり、500万画素の高精細撮影ができ、車両の違反行為を記録することができる。機能はこれまでの信号無視自動測定の外、進路変更違反、停止線超過違反、逆行違反などを自動で撮影検挙することができる。

(5) 薬物使用運転 (山東省)

山東省公安厅交通管理局の発表によれば、今年違法薬物使用により運転免許を取り

海外安全対策情報

消されたのは675人であった。薬物使用運転は酒酔い運転と違い外見的特徴がないことから、事故や通報などを基にして追及していく必要があり摘発が少ない。また、薬物使用運転に関する規定がないことから、道路交通安全法の「交通肇事罪（交通事故罪）」で処罰するしかなく、比較的軽い罪になっており、長年専門家によって問題が提起されている。

（了）